

第8回関西みみはなのど治療研究会



先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。2010年より毎年開催されている「関西みみはなのど治療研究会」も今回は8回目となりました。今回は関西電力病院耳鼻咽喉科、杏林製薬と共催させていただきました。

専門医制度の変更により、通常の学術集会2時間の内容に加え、「耳鼻咽喉科領域講習」も開催させていただきましたので、合わせて3時間の長丁場となりましたが、これまで以上に多くの先生方にご出席いただきました。また、今回初めて海外から講演者をお招きし、英語でご講演いただきました。これを機に機会がございましたら海外の先生方にお話しただけの場を設けてゆきたいと考えております。

◆一般演題

◎一題目「当院における中耳疾患、アレルギー性鼻炎、音声疾患の治療の現況」

演者 廣芝新也・荻野枝里子（ひろしば耳鼻咽喉科）

座長 村上匡孝先生（耳鼻咽喉科村上クリニック 院長）



毎年、当院での治療の現況についてお話させていただいておりますが、2010年以降ご紹介いただく先生方のご尽力もあり、少しずつ年間の手術件数は増加しております。主には、鼓室形成術、鼻内内視鏡手術、甲状軟骨形成術がほとんどを占めます。今回の講演では、それぞれの領域からお話させていただきました。

耳領域については、内容を過去6年間で当院で行った先天性真珠腫31例32耳について、データをまとめました。特別稀な疾患ではございませんが、必ずしも診断は簡単ではなく、特に日常診療で多数の患者さん方を診察されている開業医の先生方にとっては、意外に見落とししやすい疾患でもあります。最近では当院でも内視鏡を耳の手術でも導入しており、顕微鏡の死角になる部分を観察したり、内視鏡下で手術操作を行うことも可能です。内視鏡導入後の真珠腫遺残は今のところゼロです。全体としての遺残率は8.9%、聴力改善率は88.9%でした。

次に音声領域では、性同一性障害(Gender Identity Disorder;GID)の方に行う甲状軟骨形成術IV型（輪状甲状軟骨近接術）について、お話させていただきました。

最近になって性同一性障害という疾患について認知されつつありますが、本疾患は、いわゆる同性愛や女装（男装）趣味というものとは区別されており、自分自身の意識する性別と身体的な性別が一致しないという、内面的な疾患です。外見や身体が男性であるのに内面は女性という場合はMTF、外見が女性で内面が男性の場合はFTMと分類されます。

性同一性障害は、日本精神神経学会も「性同一性障害は精神病ではない」と明言しておりますが、依然として周囲に認知されにくい患者さんの苦悩は相当なものです。身体のみならず、「声」についても、患者さん自身の本来の性別での音声になることを切望されています。

鼻領域については、荻野先生よりSNOT22という鼻に関わる症状を総合的に評価するスコアを用いた、術前後の評価と、他施設共同で行っている感冒後嗅覚障害に対する当帰芍薬散の治験について発表させていただきました。



◆特別講演 1

「Updates on Phonosurgery and Dysphagia」

演者 Central Manchester University hospitals Dr. Yakubu Karagama

座長 田邊正博先生（協仁会 小松病院 名誉院長）



今回の特別講演は、本研究会では初めて海外の先生にお願いしました。イギリス、マンチェスター大学病院の咽喉頭領域の consultant である Mr. Karagama から、音声疾患の外科的治療及び、嚥下障害の外科的治療について、講演いただきました。特にラリngo下で行うレーザーやマイクロデブリッターを用いた手術、あるいは機能的発声障害に対して、ボトックスやヒアルロン酸などを注射しながら音声治療も行うといった、日本ではあまり見られない治療についても供覧いただきました。内容が盛りだくさんで1時間でも不足するような状況でしたが、ビデオを供覧しながら聞き取りやすい英語でプレゼンしていただきました。今後も機会があれば、海外の方々とも交流を深めたいと思います。

◆特別講演 2

「咽喉頭癌治療 up to date -内視鏡手術とロボット手術-

演者 楯谷一郎先生（京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師）

座長 岩永迪孝先生（ひろしば耳鼻咽喉科・京都みみはな手術センター 所長）



耳鼻咽喉科領域のロボット手術の国内第一人者である楯谷一郎先生に、ご講演いただきました。咽喉頭領域の腫瘍は、従来の外切開による手術は患者さんへの侵襲が大きく、術後の嚥下機能の低下などの問題もありましたが、経口的に手術を行うことで劇的に術後の QOL が改善します。今回は Da Vinci による実際の経口的手術と、内視鏡と併用し消化器内科の先生方と共同で手術を行う方法についても供覧されました。まだまだ Da Vinci はコスト面やライセンスの問題もあり一般の市中病院では使える状況ではありませんが、上部消化管の内視鏡を用いることで、より低コストで経口的に手術を行うことができます。一昔前とは隔世の感があります。Da Vinci もバージョンアップされつつあり、ますます今後も発展することが期待されます。

懇親会

講演後の懇親会では、一色信彦先生に乾杯のご発声をいただきました。例年より多数の先生方にお越しいたごき、盛会となりました。来年も9月2日土曜日に開催予定ですので、ご参加お待ちしております。



第8回みみはな Cup 於 田辺カントリー



研究会の翌日の9月4日(日)に第8回みみはな Cup を開催いたしました。毎年、名門コースの田辺カントリー倶楽部で、メンバーであられる村上匡孝先生のご尽力により開催しております。次回も来年の9月3日(日)に同じ田辺カントリーで開催予定です。コンペだけのご参加も大歓迎です。ご参加お待ちしております。

優勝者コメント

優勝者 ごとう耳鼻咽喉科 後藤英一郎先生



みみはな CUP といえば雨のイメージが強いですが、今年は台風の接近、前日の天気予報では雨であったにもかかわらず、時折の雲が有るくらいのほぼ快晴に恵まれました。

「天気の良い田辺カントリーはこんなに緑が映えてきれいなコースやったんだ」と参加者が思わず漏らしてしまうほどでした。

天気にも、同伴者に恵まれ楽しくラウンドさせていただいた私は、前半はさすがに名門のグリーンに苦しめられ、3 パットを連発しいまいちでしたが、さすがメンバ

ーで安定した村上先生の一步後ろをなんとかついて行きました。

後半になり、パットのタッチが合ってきたのと、ショットが何故か突然絶好調になり、OBを2発打ったものの想定外の後半の好成績となり優勝させていただきました。

ひとえに、気持ちよくラウンドさせていただいた同伴者の方々のおかげと思います。

また、例年の事ながら色々の先生方と、楽しい一時を一緒に過ごせるよう、ご尽力いただいた廣芝先生に感謝いたします。



手術見学についてのお知らせ



毎年ご案内申し上げておりますが、手術見学は随時受け入れ可能です。この1年でも多くの施設から見学にお越しいただきました。開業するとどうしても手術に携わる機会が減ってしまいますが、外来診療への刺激を与える意味でも見学していただくことは有益ではないかと考えております。

現在月曜日から金曜日まで、平日は毎日が手術日となっています。原則として耳の手術は毎週水曜日と隔週の月曜日。鼻の手術は隔週の月曜日、毎週火曜午前、木曜・金曜午前。音声・形成関連の手術は火曜午後に行っております。

この機会に、先生方のお考えやご要望をお伺いして、今後の医療活動に生かしてゆきたいと考えております。

ご希望の方は廣芝のメールアドレス (hiro@hiroshiba.com) にご連絡いただければ対応させていただきます。午前中だけ、もしくは何時から何時まで見学希望という形でも結構です。お申込みお待ちしております。

事務長のご挨拶

医療法人顕夢会 事務長 山田昌彦



第8回関西みみはなのど治療研究会へ多数ご参加いただきましたことにお礼を申し上げます。

今回、専門性・話題性に富んだテーマでご講演いただいたことで、従来にも増して多くの先生方にご参加いただくことができました。懇親会場においても、講演いただいた先生方を囲んで談笑の輪ができるなど、楽しく懇親を深めていただけたのではないかと考えております。

研究会の翌日に開催しました「みみはな Cup」は、例年雨に泣かされていましたが、今回は久しぶりに快晴の中でプレーいただき、盛り上がりのある大会だったと思います。来年も是非、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

当院では、音声外来や手術相談外来の曜日を増やししたり、中耳外来や嗅覚外来などの専門性の高い医療の提供が出来るように取り組んでおります。今後も、より一層皆様のお役に立てるよう、改善・工夫を凝らしていきたいと考えております。

また、患者さんのご紹介をいただくなど、大変お世話になっております近隣の開業医の先生方をご訪問させていただいておりますので、その折には忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ひろしば耳鼻咽喉科
京都みみはな手術センター

〒610-0355
京都府京田辺市山手西 2-2-3 日東西ビル 2F-3F
TEL : 0774-64-0789(外来受付) 0774-46-8719(手術相談)
FAX : 0774-64-0872
<http://www.hiroshiba.com/>